

日韓国交正常化60周年・名勝鞆公園指定100周年



朝鮮通信使 復元船が やってくる!

in
日東第一形勝
鞆の浦



<常夜燈

2025年5月8日(木)

■歓迎セレモニー

※観覧自由
[10:00~10:30]
場所 常夜燈前

■復元船自由見学 [13:00~14:30]

※事前申込不要・当日受付
※急な階段、段差があるため、自力で見学できる方限定です。
場所 鞆の浦漁協前浮棧橋

■復元船特別見学会

韓国の国立海洋遺産研究所職員による復元船の解説を受けながらの船内見学や韓国の伝統芸能団体による演舞をお楽しみいただけます。

※特別見学会は事前申込の方のみです。 ※定員を超える応募があった場合は抽選となります。
※急な階段、段差があるため、自力で見学できる方限定です。

第一回 [10:30~11:30]

場所 鞆の浦漁協前浮棧橋 定員 20名

第二回 [14:30~15:30]

場所 鞆の浦漁協前浮棧橋 定員 70名

事前申込はこちら>
申込期限:4月28日(月)



18:30からは
復元船の
ライトアップも!

江戸時代、朝鮮国が日本に派遣した朝鮮通信使。学術、芸術、産業及び文化など様々な分野において活発な交流を行い、対等で友好的な両国の関係を維持しました。この度日韓国交正常化60周年を記念して朝鮮通信使復元船が鞆の浦に來航します。

韓客詞花>
(福山市重要文化財)
(ユネスコ「世界の記憶」)



関連行事もたくさん!

■コーナー展「朝鮮通信使と鞆の浦」

3月27日(木)~5月25日(日)9:00~17:00
※月曜日、5月7日(水)は休館
場所: 福山市鞆の浦歴史民俗資料館
料金: 入館料150円

■朝鮮通信使パネル展

4月16日(水)~5月19日(月)10:00~19:00
※土・日曜日、祝日は18:00まで
場所: 福山市沼隈図書館 料金: 無料

■日韓国交正常化60周年記念 日韓文化交流イベント

「ちやわんやのはなし—四百年の旅人—」
特別上映会
5月8日(木)
12:30受付開始 / 13:00~15:00上映
15:00~15:30ゲストトーク(映画制作関係者)
場所: 福山市鞆交流館2階大ホール 料金: 無料
主催: 駐広島大韓民国総領事館

福山市 鞆の浦



JAPAN HERITAGE
日本遺産

万葉の時代から潮待ちの港として栄え、瀬戸内の風光明媚な景色が溶け合うまち、鞆の浦。「名勝 鞆公園」は、今年で100周年を迎えます。かつて朝鮮通信使が「日東第一形勝」(日本で一番美しい景色)と絶賛し、名勝指定を受けた景色は今も変わらず、訪れた人の心を魅了します。その美しい風景を感じながら、日本遺産に認定された「鞆の浦」の歴史や文化の物語を紐解きにお越しください。

事務局

※復元船特別見学会の申込に関するお問い合わせ
朝鮮通信使復元船歓迎行事事務局
(株式会社日本旅行 Tis 福山支店)
TEL.084-931-2611

主催

※その他本行事全般に関するお問い合わせ
福山市経済環境局
文化観光振興部文化振興課
TEL.084-928-1278



<鞆の浦の見どころや
おすすめスポットはこちら!

VISIT鞆の浦

日韓国交正常化60周年・名勝鞆公園指定100周年

朝鮮通信使の歴史

福禅寺夜坐
積水三韓客秋
雲百尺樓僧依
龍氣空月與磬
寂浮浩劫飛仙
夢明窓帟几舟

標倒整頭昂上臺八窓蒼帽倚已開煙生極
浦斜暉欲雪蘇遠山霽色未海内幾人飲此
去已匠遠寄得重迴秋俗不盡登高興又醉
新年相葉杯 未仲夕年秋登于福禅寺 張如石



朝鮮通信使とは？

朝鮮通信使は、江戸時代に朝鮮国が日本に派遣した外交使節団で、徳川将軍の代替わりの祝賀、若しくは両国間の外交課題の解決のため、朝鮮国王から将軍宛ての国書を託されて来日しました。豊臣秀吉の朝鮮出兵で一旦途絶えていましたが、徳川家康の命を受けた対馬藩による粘り強い交渉の末1607年に派遣が再開し、これにより国交が回復します。以来、江戸時代の約260年間日本と朝鮮国は隣国として戦争のない平和な時代を過ごしたのです。江戸時代に漢城(ソウル)から江戸を目指して日本へ12回派遣された朝鮮通信使は、**両国の平和を象徴する使節団**であるとともに、**学術、芸術、産業及び文化などの様々な分野において活発な交流を行い、両国の対等で友好的な外交関係を維持しました。**



朝鮮通信使復元船

- ・2018年に韓国で建造
- ・長さ 34m
- ・幅 9.3m
- ・帆柱の高さ 22m
- ・総トン数 149t



江戸時代の通信使の行程

日韓国交正常化60周年を記念して、韓国・釜山から大阪まで江戸時代の航路を朝鮮通信使復元船で再現航海します。



朝鮮通信使船出迎え(2011年)



「日東第一形勝」額字(福山市重要文化財)(ユネスコ「世界の記憶」)

鞆の浦の景色は歴代の通信使に絶賛されてきましたが、もっとも有名なのが1711年の従事官の李邦彦(イパンオン)が残した「日東第一形勝」の言葉です。この書は朝鮮国内でも有名となり、福禅寺対潮楼は通信使たちの憧れの場所となりました。

鞆の浦にある朝鮮通信使ゆかりの地



福禅寺対潮楼(国史跡)

福禅寺は、元禄年間(1688年~1703年)に建立された客殿(対潮楼)が朝鮮通信使の迎賓館として使用されました。墨書「日東第一形勝」誕生の舞台となり、対潮楼には、その扁額が掲げられています。



太田家住宅(国重文)と保命酒

保命酒は江戸時代から今に伝わる鞆の名産品で、朝鮮通信使も愛飲していました。「黄色に輝く長寿の酒」など賞賛の漢詩を残しています。保命酒の醸造場は、太田家住宅として今も大切に残されています。

アクセス



公共交通機関でのご来場を推奨しております
 ■バス:JR福山駅-鞆の浦 約30分
 福山駅前バスのりば5番「鞆港」行バス乗車「鞆の浦」または「鞆港」で下車
 ■車:近隣の有料駐車場をご利用ください

鞆の浦

まち歩きマナー

五ヶ条

志、道いつばいに広がらないで
 式、歩くから分かる魅力がある
 参、入ってもいい?その確認がとってもイ
 四、ごみをポイ捨てしない 旅の意気込み
 伍、スマホじゃなくて景色を見て